



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.12.27 No. 4118

安全を解体する合理化

千葉運輸・営業関係で 年度末合理化提案(2)

一二月二日、千葉支社は、年度末諸施策と称する運輸関係・営業関係の合理化計画を提案した。(施設・電気については後日提案の予定。)

運輸関係では、電車区関係において、交番検査の作業内容と作業体制の見直しにより、効率化・合理化を図っていくとの内容である。

② 絶縁測定方法の見直し、③ 担

店舗関係の廃止

- ◆ なはなそば ▲9
- ◆ 浅草橋 ▲3
- ◆ 西船橋 ▲6
- ◆ 合 計 ▲18

新設びゅうプラザ

職場名	標準数
ひゅうプラザ	1
浅草橋	5
小岩	5

営業関係

職場名	新	改訂	増減	勤務体制	
市川大野駅	一般	4	6	+2	出改札1テ→1テ1変日 現在員を標準数化
新小岩駅	一般	29	26	▲3	ホーム客扱い2テ→1テ
市川駅	一般	31	28	▲3	ホーム客扱い2テ→1テ
稲毛駅	一般	22	19	▲3	ホーム客扱い2テ→1テ
蘇我駅	一般	26	27	+1	事務口勤1名→ 事務・遺失物2名
千倉駅	管理 一般	3 5	1 4	▲2 ▲1	当直・出改札2テ→1テ
南船橋駅	一般	6	7	+1	出改札1テ1日→2テ
新習志野駅	一般	12	9	▲3	信号・誘導2テ→1テ
合計				▲11	

運輸関係

職場名	標準数	増減
習志野電車区	47	▲1
幕張電車区	125	▲1
津田沼車掌区	272	▲1
合計		▲3

※習志野・幕張電車区については、交番検査の作業内容と作業体制の見直しにより、効率化・合理化を図る、との内容。

主な見直しの内容は、
・「前検」の廃止、絶縁測定方法の見直し、
・担当業務の持ちかえと各区の作業標準の見直し(京葉電車区も、同様の見直しを図るとしているが要員関係は変わらず。)

当業務の持ちかえと各区の作業標準の見直しによって、習志野・幕張電車区において交番検査各一名の減となっている。
また、営業関係においては、
(1)西船橋駅直営売店の廃止、浅草橋そば店の廃止によって各九名、(2)車掌用ITV、発車予告ベル、テレビスピの設置による運転取り扱い業務の廃止による要員削減(千倉駅・管理▲二、一般▲一)、(3)遺失物捜索駅の明

確化(錦糸町・西船橋・津田沼・千葉・蘇我の各駅)に乗じたホーム要員の削減(新小岩・市川・稲毛の各駅、各▲一名)などとなっている。

われわれは、この「乾いた雑巾を絞る」がごとの合理化を断じて許すことが出来ない。年度末合理化を許さない体制を作り上げよう!

運転士に「雪降るせ」 派出所止のシケが「マジ」

また、千葉支社輸送課は、この日、「降雪対策について」として、

アム、茂原の各駅(電留線含む)・備品(除雪棒、保護具、防寒具等)

・ 検修社員のいない滞泊箇所において降雪によりパンタグラフが上昇しない場合は、運転士が指令にその旨を連絡し、除雪棒にてパンタグラフの舟体の雪を揺すり落とし車両を出区させる。なお、運転士で対応できない場合は指令等が検修社員の出勤要請を各区に行なう。

● 対象箇所・佐倉、成東、佐原、旭、君津、鹿島サッカースタジアム、茂原の各駅(電留線含む)・備品(除雪棒、保護具、防寒具等)
● 運転士については、千葉運輸区・銚子運輸区において試行する。
この内容を提案してきた。
この間の派出所検査の廃止のツケを運転士にすべて押しつけようとするでもない提案である。労働千葉は、この計画を直ちに中止するよう口頭で通告した。

団結旗開きに結集しよう!

とき 一月一四日
ところ 千葉県労働者
福祉センター

△全支部から
△全力で結集しよう